



9月6日、7日に
公明党の方々が十島村を視察に来られました



Cover : 公明党の方々 (P.1-2)

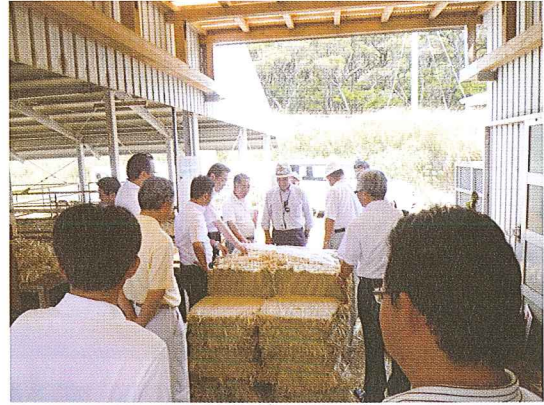
- 02~03 公明党国会議員視察の様子
- 04~05 60周年記念式典検討会
- 06 口之島盆踊り・狂言
- 07 悪石島ボゼ祭りツアー報告
- 08~09 いきいき教室
- 10 バドミントン大会
- 11 Iターン者紹介・トカラ馬赤ちゃん
- 12 叙勲表彰・戸籍総合システム稼働式
自主防災組織研修会
- 13 実証運航
- 14 医療費助成・高齢者特別乗船券
- 15 浄化槽点検・飲酒運転注意
- 16 島巡りマラソン・運航予定表

—公明党国会議員の方々による視察が行われました—

公明党国会議員の方々が9月6日から7日にかけて十島村を視察されました。

視察場所は口之島・宝島で、村長、各課長等その他職員及び村議会議員7名が随行しました。

△国会議員による視察の様子



村では、今回の公明党国会議員の方々の視察にあたり、次のような要望をあげました。

①介護サービス事業の財政安定支援について

本村のような極小規模離島では、介護サービス事業所は利用者人数が少ないため介護報酬だけの収入では事業所運営ができません。地域住民が法律で定められている介護サービスを村内で受けることができるよう事業所運営のために要する経費について、介護保険料や利用者負担額に反映しない交付金等を創設していただけるよう必要な措置を講じていただきたい。

②全便名瀬航海便の実現について

定期船は、月曜日出港を宝島折り返し便、金曜日出港便を名瀬折り返し便で運航しているが、悪石島以南の住民は名瀬を生活圏にしていることや、緊急時における搬送先医療機関も奄美地域が近いため、全便を名瀬航海便としていただけるよう必要な措置を講じていただきたい。

③航路運賃の軽減について

定期船は住民唯一の生活航路であり、生活物資を始めすべてを委ね住民移動、物資の流通は住民の大きな負担となっています。一部村単独で支援施策を設けていますが、村のみの支援では限界があることから、個々の負担軽減を図る措置を講じていただきたい。

④港湾施設整備事業の促進について

本村は、昭和32年から口之島港を始めに7ヶ島の港湾整備を行ってきましたが、未だに防波堤に定期船を接岸している港が4ヶ島あります。村の財政を長年大きく圧迫している港湾建設であります。村の最重要施策として計画的に整備を進める中、国庫補助金要求額の減額は、他市町村との往来できる唯一の定期船の運航にも大きな支障をきたし、離島で生活する住民に大きな障害となることから、要求額の満額を交付していただけるよう必要な措置を講じていただきたい。

⑤地積調査事業の予算拡充について

平成7年度より地積調査事業に着手し、ようやく2島が完了しました。残り5島は筆数も多く面積も広い地域です。高齢化が急速に進んでいることから予算を拡充し早急に調査したいため、国庫補助金要求額の満額を交付していただけるよう必要な措置を講じていただきたい。

⑥ブロードバンド運営への支援について

十島村で整備・運用している情報通信基盤施設で、本土から各離島まで使用している民間通信事業者の保有する海底光ケーブルの回線容量及び料金について、離島においても適当なサービスを選択できるような働きかけや措置を講じていただきたい。また、村の一般財源で賄われている当該施設の管理運営経費について、国県からの財政支援が得られるような必要な措置を講じていただきたい。



上：口之島での懇談会の様子
右上：宝島での懇談会の様子

今回、公明党国会議員の方々に島を实际見て、触れていただき十島村としても置かれている現状や課題等を伝えることができました。これらの要望が国政に反映されることを期待せずにはられません。

最後に、視察に際しご尽力いただいた関係者の皆さんに感謝いたします。



上宝島にて
トラノオ栽培視察の様子



左：口之島での懇談会にて
国会議員の方々と島民の
集合写真